



C
O
M
P
A
N
Y
P
R
O
F
I
L
E

株式会社 有電

— 会社案内 —

INTERVIEW

「いい仕事をしよう」

お客様にファンになっていただける
会社でありたい

平成26年4月、代表取締役社長に就任。
先代創業以来の電気工事業に加え時代の
ニーズに応え続けられるよう、広く深い知識
で技術の向上と革新に意を注いでいる有村
朋泰社長。そんな有電の企業理念は「いい仕事
をしよう」。この「いい」という単語は人によ
って捉え方や感じ方が違うだろう。

「いい仕事」とは何か？「いい仕事」をする
ためには何が必要か？

有電が目指す「いい仕事」や今後のビジョ
ンについて、有村朋泰社長に話を聞いた。



一番やりたくない仕事だった

父親が電気工事をやっていたが自分自身は特に興味がなく、進学した高校の電気課も何となく入学しました。なので電気の勉強どころか友人たちとかなりヤンチャな学生時代を過ごした記憶しかありません。

卒業時は洋服に興味があったのでアパレル業界に憧れていましたが、当時はかなりの就職氷河期でなかなか正社員の職が見つからずにいました。

そんな時、父（現会長）から設計事務所での修行をしてもらうよう勧められました。工事や建築など本当は一番やりたくない部類の仕事でしたが、就職も決まらない中とりあえず設計事務所での設計補助の仕事をはじめました。

修業時代

今考えればかなり素行の悪い若造でした。厳しく指導されることも多かったです。そんな中でも可愛がってくれる先輩がいたから仕事が続けられました。3年間の在籍で設計業務とCADを覚え、CADは現在も施工図を書くときにとても役立っています。計画から施工という一貫した図面を書けるようになったのはこの修行時代のおかげです。

3年経った頃、父から有村電気工事を手伝うよう言われました。仕事も覚え楽しくなってきた頃だったので正直もう少し続けたかったですね。

ただ、今考えれば年齢のこともあり、父自身が動けるうちに自分の持っている知識や経験を伝えたかったのだろうと思います。

まずは現場へ行け

有村電気工事に就職して言われたのが「まずは現場へ行け」。

当時、職人の世界は今より更に厳しい時代でした。1年間はドライバーもベンチも持たせてもらえず、ひたすら掃除と雑用のみ。今だったらパワハラと言われるような経験も数々。現場への往復の車中がまるで牢獄の様に感じました。

そんな中でも仕事を続けられたのはやはり先輩の職人さんたちに可愛がってもらったから。色々なことを教わり、叱られたときには庇ってくれたり、飲みみに連れて行ってくれたり、いつも気にかけてくれました。

一人ではなく皆で役割分担して出来上がる現場、電気がなければどんな建物も使えない、大変と思われがちな建設業ですがとてもやりがいのある仕事だと思っています。

PROFILE

代表取締役 **有村朋泰**

1979年、愛知県北名古屋市生まれ。
いつでも立ち止まって「いい仕事したかな？」
と考える職人集団でありたいがモットー。

社員への思い

自分たちの下積み時代はある意味失敗が許されていました。失敗し、怒られ、次に同じ失敗をしないために覚える、の繰り返し。その中で先輩との良い関係も生まれていったと思います。しかし今は違う。時間やコストやコンプライアンスの問題もあり失敗できない時代になってしまった。だから一人前になるのに自分たちの時代より時間が掛かってしまうのは仕方ないと理解しています。そんな中でも自分で考えながら頑張っている若い職人も多い。20代はアタマが柔軟ですからね。

新卒で入社し現場が辛いと泣きながら電話をしてきた子が、仕事を覚え初めて自分で現場を納めて帰ってきた時は本当に嬉しかったですよ。会社の財産だと思っています。もし「結婚します」なんて報告を受けたら泣いてしまうでしょうね。気持ちは父親です。

そして、中堅やベテランの職人に会社は支えられています。立場は変わっても自分が若い頃に教えられた過去があるから今がある。もちろん今でも教えて貰うことも多く、先輩であり師匠であることはずっと変わりません。



企業理念「いい仕事をしよう」

「いい仕事」とはなにか。私はお客様にファンになっていただくことだと思っています。

昔、「君が来てくれなきゃ!」と指名してくださったお客様がいて本当に嬉しかった。これこそ技術屋冥利に尽きるというものです。

仕事はできて当然、プライドは持つが自己満足で終わらない。そしてその上にプラスされる安心・安全・きれいな仕事。手掛ける仕事や現場は職人にとっての作品ですから見えなくても丁寧なきれいな仕事を心掛けようと社員には伝えています。

私たちの仕事は当然危険と隣り合わせです。電気ですからね、1つ間違えば感電もあるわけです。そんな中、有電の最大の強みは実は「経験」と「勘」なんです。



また、職人たちは「勘」を大切にします。根拠はあるが説明はできない、動物的感覚、直感といったものです。これも沢山の経験から培われたものだと思います。もちろん「勘」を裏付けるための資料探しや理由探しは徹底的にやりますよ。お客様にご納得いただくための作業のひとつです。

すべてはお客様のために。建設業もサービス業だという考えのもとに、お客様の立場にたって考え、行動しています。

今後のビジョンと社会貢献

現在は下請け工事主体の仕事ですが少しずつ元請事業を展開していきたいと思っています。例えば、困ったときに思いだして声をかけてもらえる「地元の電気屋さん」とか。現在は夏祭りの電気設営や学校の電気機器整備工事などで地域とかかわっていますが、一般家庭のコンセントの移設工事や、プレーカーの不具合対応など、暮らしを快適にする電気工事プランを実行するチームを立ち上げてみたいですね。他にも例えば通勤30分圏内の現場なら社員の負担はかなり減ります。もちろん

たまには出張で地方の美味しいものも頂くのも楽しみの一つですけどね。

現状はプラントや電気設備といった特殊な仕事がほとんどで、工場の電気や飲み水の供給元の電気工事など一般の方に見て頂ける機会はなかなかありません。

自動車会社の工場で電気工事をした際に、街中でその会社の車種を見かけて、自分たちの仕事が皆さんの生活に繋がっているな、と思う程度です。

今後インフラ関連(浄水場・配水場)の仕事は人口減少と共に減っていくでしょう。

有電は防災に関する電気工事(災害時防災電力事業)や地元との繋がりを大切にしながら、元請仕事の受注を段階的に増やしていきたいと考えています。

地域の皆さんに頼りにされる会社、災害時に地元役に役立つ会社を目指します。

私たちの考える「いい仕事」をして一人でも多くのファンを増やしたいです。そして、いつでも立ち止まって「いい仕事したかな?」と考える職人集団でありたいと思います。

BECAUSE OF ENERGY OF TOMORROW

明日のエネルギーの為に、 「有電」ができること。

株式会社「有電」は創業以来、上下水道プラント工事・一般工業プラント・特高受変電設備工事といった規模プラント工事から、内線工事まで「電気工事一筋・施工品質第一」をモットーに進んで参りました。さらに通信工事や小規模土木工事へも手を上げ時代のニーズに応え続けられるよう、工事技術の革新に意を注いでおります。『電気工事の事なら何でもご相談下さい』といつでも言い切れるよう広く深い知識・技術の向上に努力をし、社会・地域貢献をしながら皆様のお役に立てるよう挑戦し続けている会社です。



業務内容

発電プラント

お客様の各現場設備の安定・高効率な稼働を実現する為の、各種変電プラントの建設工事の施工



公共プラント

上下水道処理プラントなど、公共プラントを通じて快適でより豊かな生活の為の環境作りに参加



各種産業プラント

重化学プラントをはじめとする各種産業プラントの電気設備の施工に貢献



ビル用電気設備

さまざまな情報が発信されるインテリジェントビルの変電設備から電算設備等の電気工事



株式会社有電の経営理念

「いい仕事をしよう」



理念

1

顧客第一主義

「建設業もサービス業である」という考えのもと、お客様の立場に立って、お客様の繁栄を考えます。

理念

2

付加価値の高い技術提供

施工品質、技術力を発揮することで付加価値のある工事の創造を実現します。

Future Vision

防災に関する電気工事

(災害時防災電力事業)

電算機
設備

通信設備

電気設備の
設計・施工

上下水道
設備

Future Vision

地域への貢献事業

(地元の電気屋さん/夏祭りの電気設営など)

発受変電
設備

営業品目

発受変電設備

6KV～150KV級を主体にGIS変電機器の基礎工事から据付配線までのフルターン工事の施工

電算機設備

各種インテリジェントビルの大型電算機の電源設備(CVCF)を主体に、据付・配線を施工

上下水道設備

上下水道プラントの変電設備に加え、各種処理施設の制御配線・配管を施工

通信設備

TVに依る各監視設備工事や、諸情報伝送装置などの施工

その他電気設備の設計・施工

各種工場・建物等、その他電気設備の設計・施工

届出書類の作成提出と諸設備の工事施工

法的書類の作成提出や、官公庁対応の計画書類の作成



発受変電設備の工事施工



上下水道設備の工事施工



某受水場 防犯灯の設置



発電設備

All for our customer satisfaction.

すべてはお客様のために

日本の経済発展を支えてきた重電機器プラント工事において更なるエレクトロニクス化システム化の進展に対応するプラント建設工事にハイレベルな技術を生かしてユーザーニーズに的確にお応え出来る施工技術力を提供致します。



品質・安全への取り組み

毎月1回、品質・安全協議会を開き、きめ細かく取り組んでいます。

「品質」

品質ロスコストの撲滅をスローガンに施工設計、施工品質の確保を重点に展開しています。

「安全」

- A 当たり前の事を
- B バカにせず
- C ちゃんと守ろう基本ルール



安全の王道のA・B・C活動を基本に、3現主義(現場、現実、現物)で創立以来無事故を継続しています。

作業工程

施工前

着工開始～施行



設計検討会

着工前には関係者全員が設計思想を検討会で実施し、計画しています。



ベース設定・基礎工事

電気の盤を高さに合わせて設置する為に、基礎工事を行う際には鋼材を設置してからコンクリートを打ちます。鋼材の高さに誤差があると電気の盤が設置できないので皆真剣です。



コンクリート打設

鋼材を取り付けたらコンクリートを流します。仕上がり部分なので、表面に傷が付かない様、慎重に作業します。

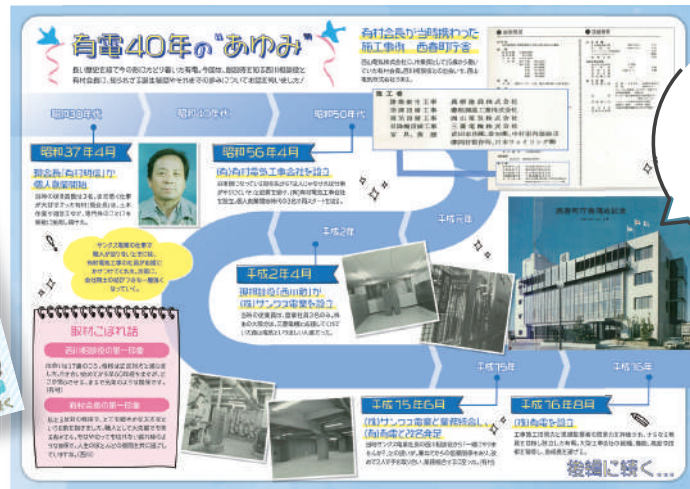
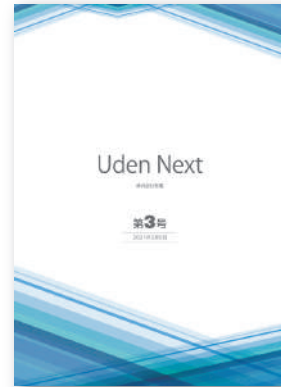


機器搬入

工場等は電気の使用量が多いので、電力会社より高い電圧で電気を供給してもらい、敷地内の変電所の変圧器という機械で電圧を下げて各工場に電気を送ります。この写真は、工場より出荷された変圧器を取付ける作業の1コマです。機械が重いのでクレーンを使って作業します。

もっと身近に「有電」を知ることができる、社内報を発行しています！

毎月5日、社員が取材し印刷した社内報を発行しています。業務ノウハウや成功の秘訣、今だから笑える失敗談など、取材やアンケートなどを自ら行い、職場の環境改善や生産性向上に繋がったり、ご家族にも配布したりするなど社員のコミュニケーションツールとして活用しています。また取引先の関係者様にもっと安心してお付き合いいただけるツールとして、学生や求職者の方にもリアルな有電の魅力を伝えるツールとして活用していきます。



創刊号は「有電40年のあゆみ」を特集しました！

完成



機器設置

この写真は、先程の変圧器を設置している状況です。変圧器が重いので下に運搬用の単管を敷き、専用の機械で変圧器を引張って動かします。写真右側の作業員が機械を動かし、変圧器の周りには作業員は、変圧器が単管から外れるのを防止したり向きを微調整したりしています。



配線・ケーブル結線作業

機器を据え付けたらケーブルを布設し、その後ケーブル結線を行います。写真(右)は6.6kvの高圧ケーブルの端末処理作業を行っているところです。



品質確認

ケーブルを接続したら、決められた場所に接続されているか、又、ケーブルに損傷が無い確認を行います。



完成

現場の完成状況です。皆で力を合わせて一つの現場を終わらせた時の充実感は格別です！



株式会社 有電

社名	株式会社 有電
代表取締役社長	有村 朋泰
所在地	〒481-0006 愛知県北名古屋市熊之庄石原95番地 TEL：0568-25-6260 FAX：0568-25-6286 MAIL：info@uden.co.jp
創立	昭和56年4月
株式会社設立	平成16年8月
資本金	2,000万円
社員数	28名
事業内容	電気工事業、機械器具設置工事業、電気通信工事業、とび土木工事業
有資格者	1級電気施工管理技士、2級電気施工管理技士、監理技術者、第一種電気工事士、 第二種電気工事士、工事担任者、自家用発電設備専門技術者
建設業許可	電気工事業・機械器具設置工事業・電気通信工事業・とび土木工事業 愛知県知事 一般 第27276号
主要取引先	三菱電機プラントエンジニアリング株式会社 / 川北電気工業株式会社 三光設備株式会社 / 株式会社弘電社 / 大栄産業株式会社 / 東芝三菱電機産業システム株式会社 / 北名古屋市



◀ Webサイトで、会社案内および関連情報をご覧ください。

<https://www.uden.co.jp>